



医療法人芙蓉会 南草津病院

訪問リハビリテーション情報誌

みなりハ

第 21 号

発行月 2017. 4 月

今年は今明けから雪がよく降る年となりましたが、ようやく桜を迎える季節となりました。昨年のみなりハは『訪問リハビリを卒業された方のその後』に焦点をあてて、卒業後の生活や活動など頑張っておられるご様子を紹介して参りました。

今年度は、卒業・目標達成に向けて今まさにリハビリを頑張っておられる“現在進行形”の利用者様を中心にご紹介していきたいと思ひます。

もしかして、ご利用者様の中に同じ(似た)ような目標を掲げておられる方がいらっしゃれば、みなりハを通じて何かの励み・一助となれば幸いに思ひます。また、既に目標達成している方がいらっしゃれば「私の時は〇〇したよ」などアドバイスを頂ければ、担当セラピストを通じて、ご本人にお伝えしたいと思ひます。

このように南草津病院訪問リハビリをご利用されている方で、お互いの顔は見えなくても、みなりハが皆さんを繋ぐ何かの架け橋になればと思ひますので、今年度も宜しくお願ひ致します。

～ご報告と感謝を込めて～

3 月末にて退職することになりました前田と申します。これまで 3 年間、訪問リハビリをさせて頂き、多くの皆様とたくさんの楽しい時間を過ごすことができました。皆様に喜んで頂けたこと、もっと頑張れたことなど、今振り返ると自分にとって毎日が新鮮で勉強になることの連続でした。利用者様やご家族様と過ごせた時間、関係各所の皆様と一緒に仕事をさせて頂いた経験を活かし、これからも頑張っていこうと思ひています。ありがとうございました。

※訪問リハビリスタッフの人員調整の関係で、2～3 月にかけて時間及び曜日変更のお願ひをさせて頂いた方には、ご理解・ご協力頂き改めてお礼申し上げます。これまでの訪問リハビリ提供時間・曜日の変更をさせて頂いた方は、お間違えのないよう訪問リハビリ予定表を今一度確認して頂きますようお願ひ致します。



み な り へ 通 信

『趣味活動の再開に向けて』

今回は、草津市在住の A さんをご紹介します。A さんは以前の生活はもちろん、これまで趣味で続けておられた大正琴や、百歳体操に再び参加出来ることを目標に、退院後すぐに訪問リハビリを開始された利用者様です。

これまで長年やってこられた慣れた家事でも、入院期間を経ることで一旦中断することになるため、いざ再開するとなるとやり方・手順などにやりにくさや、時間がかかるなどこれまでのように行えないこともあると思います。また、「これまでのように出来るだろうか…」などと不安や自信がなくなることもあると思います。そんな A さんに「退院して間もないのに無理はさせられない」などの思いから、負担の多い家事はご主人の手を借りながら、決して無理はせずに A さんが出来る家事から行われました。

訪問リハビリを開始した時期が冬場で寒かったため、暖くなる春までは、訪問リハビリのない日は、日々の家事の合間を縫って百歳体操で用いる錘を使って自主トレをするなど、筋力・体力強化に努めてこられました。

リハビリと並行して百歳体操・大正琴が行われる自治会館を往来するための歩行器を一緒に選定しました。

“歩行器はリハビリの先生が選んでくれるから…”などと私達に選定を一任するのではなく、「前輪は1輪タイプが良いです」「見た目はこっちの方が良いです」など、A さんご自身の意見も聞かせて下さり、ご本人に適した歩行器の選定が行えました。歩行器をレンタルされてから、近所まで自主的に歩行器で歩行練習をするなど、春に向けて目標を達成するべく着実に準備をされてきました。

そして、先日訪問リハビリの時間に一緒に自治会館に行き、退院後初めて百歳体操に参加してこられました。百歳体操のお仲間も、久しぶりに参加された A さんに「どうやった？元気やったか？」と迎え入れて下さり、微笑ましく談笑される姿が印象的でした。百歳体操参加後には「これやったら来週から行けそうやな」と自信もつけられたご様子でした。また、近日中に同じ自治会館で催される大正琴の教室にも参加される予定です。

このように、福祉用具の選定に限らず、訪問リハビリの目標やサービスの内容など、皆さんと一緒に話し合っ作り上げていくものと考えています。どんな事でも構いませんので、何かお気付きの点などありましたら遠慮なく訪問スタッフにご相談下さい。一緒に良いものを作り上げていきましょう。

(百歳体操に参加された A さん)

